

ロジスティクス環境会議

第5回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

・日 時：2004年7月23日(金) 14:00～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

・出席者：34名

・議 案：

- 1) 事例集のまとめ方について
- 2) その他

・開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

・省資源ロジスティクス推進委員会の活動概要について【資料1】

山本委員長より、資料1に基づき、事例集アンケート調査の結果について説明がなされた。

・議事の経過

1. 議 事

1) 事例集のまとめ方について【資料2、資料3】

山本委員長より、資料2に基づき、編集方針の確認がなされ、資料3に基づき、事例集の構成と各メンバーから提出された材料を事例集用にまとめた内容の説明がなされた。

メンバーによって情報量の差があるため、情報量の少ないところについては、極力加筆して欲しい旨の依頼がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】共同物流やモーダルシフトを実施するうえで、どのような課題をどうやってクリアしたのか、より掘り下げた情報を載せるべきではないか。

【委 員】事例集はこの委員会メンバーで共有するだけでなく、オープンにするのか。

【事務局】活動方針にもあるとおり、1社でも環境活動に取組み企業を増やすためにも、各委員会のアウトプットはオープンにすることを合意いただいている。

また、オープンにする際は、JILSホームページに掲載していきたい。

【委 員】ホームページに掲載するのであれば、事例集の内容、精度を高める必要があるのではないか。

2. 第3回分科会

第5回委員会を中断し、各分科会に分かれて意見交換がなされた。

各分科会の検討内容等については別紙参照のこと。

【意見交換の主な内容】

1) 食品・流通分科会

- ・失敗例と成功例の対比を項目毎にまとめて良いのではないか。
- ・省資源ロジスティクスの活動が社会に貢献していることや、モーダルシフト等のように国から補助金等の助成があることも記載した方が良い。
- ・視覚で理解しやすく、絵や図をできるだけ活用した方が良い。

2) 機械・精密機器分科会

- ・国土交通省が既にホームページで事例紹介をしている。より内容を充実させ、ビジュアルも工夫した方が良いのではないか。
- ・一般的な事例集ではなく、現場で参考、ヒントになるものにしたい。
- ・企業名は可能な範囲で公開した方が良いのではないか。公開することによって、問合せが来た場合も直ぐに対応できるのではないか。

3) 素材分科会

- ・空欄の部分が目立つ為、各社可能な限り書き加えた方が良い。
- ・社名については匿名ではなく、各社の宣伝にもなるため、極力公開すべきではないか。

以上のような意見を踏まえ、以下のとおり進めていくことが確認された。

- ・空欄部分については、各社可能な限り書き加える。その際、絵や図など、可能な範囲でデータを事務局まで送る。
- ・社名については、可能な範囲で公開する。但し、非公開を希望する会社は事務局までその旨連絡をいただく。
- ・事例集のアウトプットについては、紙ベースを基本として、WEB上に載せる場合は、PDFで掲載する方向で正副委員長の検討に一任する。

4) スケジュールについて

以下のとおり、委員会ならびに各分科会を開催することが確認された。

(1) 委員会 当委員会全メンバー対象

第6回委員会・・・9月24日(金) 15 - 17時

(2) 分科会 各分科会登録者対象

【食品・流通グループ】

第4回分科会・・・8月27日(金) 15 - 17時

正副委員長間の協議により、開催時間を14 - 17時より変更いたしました

【機械器具・精密機器グループ】

第4回分科会・・・8月23日(月) 15 - 17時

正副委員長間の協議により、開催時間を14 - 17時より変更いたしました

【素材グループ】

第4回分科会・・・8月25日(水) 14 - 17時

少人数でこれまで十分意見交換出来たため、第4回分科会は中止とする。

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以 上

省資源ロジスティクス推進委員会

第3回 食品・流通分科会 議事録

・日時：2004年7月23日(金) 15:00～16:30

・場所：東京・港区 芝パークホテル 本館3階「牡丹」

・出席者：12名

・内容：

1. 各社の取組み事例について(前回の続き)
2. 事例集のまとめ方について

・開会：

定刻、魚住主査が開会を宣した。

・議事の経過：

1. 各社の取組み事例について(各社発表)

- (1) ハウス食品

- ・東京・福岡間の幹線輸送におけるヤマト運輸との共同化(異業種との共同物流)、および往復とも31フィートコンテナ(新開発)を利用した鉄道の活用(モーダルシフト)
- ・物流子会社のエコドライブ推進(アイドリングストップ、経済走行)と低公害車導入促進

- (2) 三菱倉庫

- ・大型冷蔵倉庫(東京)等における環境対策(省エネ・低公害型物流施設への取組み)ガス・コージェネレーションシステム、電力デマンドコントロール、自動調光、太陽光発電等の導入

2. 事例集のまとめ方について(意見交換)

- (1) 成功例と失敗例を対比してまとめる。
- (2) 全事例の成果(CO2削減量等)をトータルした数値を表紙に掲載する。
数値化については環境パフォーマンス評価手法検討委員会との整合性に配慮する。
- (3) 国土交通省の補助金事業等、環境対策の助成制度をアピールする。
- (4) インターネットのウェブサイトで公開する。
キーワード検索、リンク方式を採用する。
- (5) 視覚的になじみやすいように図、グラフ等を重用する。

・閉会

以上をもって議事を終了し、魚住主査は閉会を宣した。

以上

省資源ロジスティクス推進委員会

第3回 機械器具・精密機械分科会 議事録

・日時：2004年7月23日（金） 14：00～17：00

・場所：東京・港区 芝パークホテル 本館3階「牡丹」

・出席者：17名

・内容：

1. 各社取組み事例（前回のつづき）
2. 事例集のまとめ方について意見交換

・開会

第5回委員会に引続き、軽部主査により開会が宣された。

・議事の経過

1. 議事

軽部主査より、前回に引続きアンケート調査表に基づいた各社取組み事例の説明と質疑応答等の意見交換をしていきたい旨の挨拶がなされた後、主査の司会進行のもと以下のような発表がなされた。

1) 各社の取組み事例について（各社より発表）

(1) 愛知陸運(加藤氏)

・自動車部品用木製パレットの修理による長期使用（リユース）

【意見交換】

・現状は木製が7割、プラスチックが3割。 今後、リターナブルはプラスチック、ワンウェイは木・ダンボール等が中心に、用途に応じた使い分けが進展するのでは。

(2) 日本通運（川目氏）

・同業他社との幹線共同輸送によるトラック台数削減

・反復資材採用による環境に優しい引越しサービスの実現

・全車エコドライブの推進として、運転燃費率の改善とクリーンエネルギー車の導入

・モーダルシフト推進のため、大型私有コンテナ導入によるJR化拡大、新造船2船建造による海上化拡大。

【意見交換】

・JR貨物としてコンテナの大型化に対応した貨物基地の整備とトップリフタ-等の導入を推進中。

2) まとめ方について意見交換

事例集をまとめるに当り、「ねらい・目的」「対象者」「発表内容」「発表手段・媒体」等について、委員全員に意見聴取。

(主な意見内容)

事例集のねらい・目的が不明確。誰を対象にしているかを明確化させることが必要。国交省の事例集に対し、後出しになるだけに、内容の充実はもちろん、ビジュアルなものにしてはどうか。

発表媒体がWEBにするか、書面にするか、それも限定配布にするかによって、まとめかた、内容の充実度が大きく変わってくる。このあたりも早く明確にしないといけない。WEBにしる書面にしる広く情報を公開した場合、質問者に回答できる体制を整えなくてはならないのでは。

物流改善に従事するものにとって、一般的な事例集でなく、本当に参考になる手引き書的なものがJLSの事例集には相応しいと思われる。

こういう問題点があったがこのように解決したとか、うまくいかなかった事例といった泥臭いものであっても良いのでは。また、Q&A方式も面白いのでは。

事例集掲載の企業名は、匿名だけでなく、了解が得られるのであれば実名としたい。

2. 確認事項

分科会終了後、3グループ合同会議にて各グループの意見を確認。

以 上

省資源ロジスティクス推進委員会

第3回 素材分科会 議事録

・日 時：2004年7月23日(金) 15:30～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館 3F 牡丹

・出席者：4名

(株)日通総合研究所 山本 明弘 物流技術環境部環境グループ 担当部長

豊田スールセンター(株) 加藤 信裕 第2業務部物流企画グループ 係長

新日本製鐵(株) 河野 義信 営業総括部マネージャー

(社)日本ロジスティクスシステム協会 遠藤直也

・内 容：

1. 事例集の纏め方、省資源化に向けた今後の課題(要望事項等)について
2. 今後の進め方について

・開 会

定刻、山本主査により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議 事

山本主査より、本日は事例集の纏め方と省資源化に向けた今後の課題(要望事項等)について意見交換して行きたい旨挨拶があった後、主査の司会進行のもと、以下の議論がなされた。

(1) 事例集の纏め方について

- ・事例集の項目の中で空欄が見受けられるので、各社可能な範囲で埋める
- ・社名の記載有・無については、環境面での社外アピール等含め出来る限り記載する

(2) 省資源化に向けた今後の課題(要望事項等)について

- ・インフラの問題(橋の強度、道路高さ制約等)
- ・コンテナ取扱い駅の問題(駅数が少ない為、駅前後でのトラック輸送が発生し効果出にくい)
- ・梱包の問題(各ユーザー毎に梱包仕様が異なる為、簡易梱包化等に向けた検討困難)

2. 今後の進め方について

- ・JR貨物等、モーダルシフトに関わる会社の方をお招きし、現況・課題・対策等について議論する場を設けることも検討する。

3. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本主査は閉会を宣した。

以 上